



平成28年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年4月28日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 三ツ知

コード番号 3439 URL <http://www.mitsuchi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村瀬 修

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画室長 (氏名) 樋口 哲也

TEL 052-798-1126

四半期報告書提出予定日 平成28年5月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年6月期第3四半期の連結業績(平成27年7月1日～平成28年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年6月期第3四半期	10,256	△0.9	579	△10.9	605	△17.8	455	4.6
27年6月期第3四半期	10,344	1.6	650	51.4	736	56.6	435	26.0

(注)包括利益 28年6月期第3四半期 238百万円 (△72.2%) 27年6月期第3四半期 858百万円 (89.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年6月期第3四半期	180.02	—
27年6月期第3四半期	172.34	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年6月期第3四半期	15,415	7,739	50.2
27年6月期	14,194	7,691	54.2

(参考)自己資本 28年6月期第3四半期 7,739百万円 27年6月期 7,691百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年6月期	—	15.00	—	45.00	60.00
28年6月期	—	30.00	—	—	—
28年6月期(予想)	—	—	—	40.00	70.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年6月期の連結業績予想(平成27年7月1日～平成28年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	13,684	△0.1	756	2.0	826	△3.5	605	17.3
								239.30

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年6月期3Q	2,652,020 株	27年6月期	2,652,020 株
② 期末自己株式数	28年6月期3Q	120,219 株	27年6月期	120,131 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年6月期3Q	2,531,836 株	27年6月期3Q	2,529,489 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	12
4. 補足情報	13
(1) 販売実績の状況	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結結果計期間におけるわが国経済は、企業の設備投資や個人消費の回復を背景に、企業収益や個人所得に改善が見られ、景気は緩やかな回復基調にありました。しかしながら、中国やアセアン諸国等新興国で経済成長が鈍化する一方、日銀のマイナス金利政策導入後も為替の円高基調が続くなど、依然として先行きが不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの主要得意先であります自動車部品業界におきましては、米国では堅調に推移いたしました。日本国内においては、鋼材メーカーの事故による生産工場の操業停止等により、製造・販売ともに減少傾向となりました。

このような経営環境の中、当社グループでは対処すべき課題であります①コーポレートガバナンスの強化、②品質向上に資する品質管理体制強化、③海外子会社の管理体制強化、④海外人材の育成・強化、に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結結果計期間における当社グループの売上高につきましては、北米・中国では堅調に推移いたしました。日本及びタイにおける生産の減少等により、売上高は102億56百万円（前年同期比0.9%減）となりました。一方利益面につきましては、グループ全社を挙げての原価低減活動を行ったものの、製造原価の増加等により、営業利益は5億79百万円（前年同期比10.9%減）となりました。また、経常利益は6億5百万円（前年同期比17.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億55百万円（前年同期比4.6%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①日本

海外向け受注の増加及び新規受注品の増加等があったものの、鋼材メーカーの事故による自動車生産工場の操業停止等の影響により、売上高は80億87百万円（前年同期比4.6%減）となりました。一方利益面につきましても、減収による売上総利益の減少及び諸経費の増加等により、営業利益は2億11百万円（前年同期比35.8%減）となりました。

②米国

好調な北米景気を背景に、新規製品の受注増加等により、売上高は9億7百万円（前年同期比31.7%増）となりました。一方利益面につきましても、受注増加による売上総利益の増加及び経費削減効果等により、営業利益は58百万円（前年同期比10.6%増）となりました。

③タイ

景気減速の影響によるタイ国内生産の減少の影響もあり、売上高は17億17百万円（前年同期比3.1%減）となりました。一方利益面につきましては、原価低減活動の結果、売上総利益が増加したこと等により、営業利益は1億60百万円（前年同期比3.1%増）となりました。

④中国

日系自動車メーカーの販売台数増加に伴う新規受注の増加等により、売上高は4億24百万円（前年同期比56.5%増）となりました。一方利益面につきましても、増収要因等により、営業利益は32百万円（前年同期比261.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ12億21百万円増加し、154億15百万円となりました。

資産の部では、流動資産が現金及び預金の増加等により、前連結会計年度末に比べ7億17百万円増加し、95億19百万円となりました。また、固定資産については、のれんの減少等ありましたが、土地、リース資産の増加等により前連結会計年度末に比べ5億3百万円増加し、58億96百万円となりました。

負債の部では、流動負債が1年以内償還予定の社債の増加、1年以内返済予定の長期借入金の増加等により、前連結会計年度末に比べ3億70百万円増加し、43億53百万円となりました。また、固定負債については、社債の増加等により前連結会計年度末に比べ8億2百万円増加し、33億22百万円となりました。

純資産の部では、その他有価証券評価差額金、為替換算調整勘定の減少がありましたが、利益剰余金の増加により、77億39百万円となりました。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の54.2%から50.2%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ13億4百万円増加し、42億46百万円（前年同期比36.7%増）となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益6億5百万円、減価償却費3億26百万円、売上債権の減少額1億7百万円、たな卸資産の減少額2億56百万円等による資金増があり、一方で仕入債務の減少額2億94百万円、未払金の減少額76百万円、法人税等の支払額1億13百万円等による資金減により、9億63百万円の収入（前年同期比91.6%増）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の売却による収入57百万円等の資金増があり、一方で有形固定資産の取得による支出7億43百万円等による資金減により、6億37百万円の支出（前年同期比309.3%増）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、社債の発行による収入9億81百万円、長期借入れによる収入7億19百万円等の資金増があり、一方で長期借入金の返済による支出5億62百万円、配当金の支払額1億89百万円等による資金減により、10億73百万円の収入（前年同期は4億45百万円の支出）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成28年1月29日に公表いたしました予想から変更はございません。

なお、これらは当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、
第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額ははありません。

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社の有形固定資産の減価償却の方法につきましては、主として定率法を採用してまいりましたが、第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

この変更は、当期において、事業計画のもと、顧客及び顧客ニーズの多様化や加工の内製化等の国内生産体制の見直しのため、国内において設備投資が増加することを契機に、有形固定資産の減価償却方法を検討したものであります。その結果、今後の有形固定資産の使用は長期的かつ安定的な利用が見込まれ、国内においても定額法が有形固定資産の使用実態により即しており、経営管理の精度を高め、当社グループの実態をより適切に反映すると判断したものであります。

この結果、従来の方法に比べ、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ70,135千円増加しております。

なお、セグメントに与える影響につきましては、セグメント情報等に記載しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,135,009	4,353,414
受取手形及び売掛金	3,012,157	2,868,281
たな卸資産	2,322,651	2,005,846
その他	336,595	296,001
貸倒引当金	△4,821	△4,063
流動資産合計	8,801,591	9,519,480
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	728,660	787,691
機械装置及び運搬具(純額)	1,221,254	1,294,207
土地	2,150,081	2,391,892
リース資産(純額)	56,170	131,743
建設仮勘定	214,631	332,750
その他(純額)	146,158	193,330
有形固定資産合計	4,516,957	5,131,616
無形固定資産		
のれん	305,052	239,684
その他	68,342	60,161
無形固定資産合計	373,394	299,846
投資その他の資産		
投資有価証券	211,856	178,095
その他	304,916	300,683
貸倒引当金	△13,871	△13,870
投資その他の資産合計	502,901	464,908
固定資産合計	5,393,254	5,896,371
資産合計	14,194,845	15,415,851

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,158,230	1,836,719
短期借入金	351,500	603,483
1年内償還予定の社債	42,000	162,000
1年内返済予定の長期借入金	687,991	805,210
リース債務	108,150	116,096
未払法人税等	41,456	135,060
賞与引当金	17,873	94,921
役員賞与引当金	10,540	7,659
その他	565,401	592,256
流動負債合計	3,983,144	4,353,407
固定負債		
社債	132,000	935,000
長期借入金	1,885,934	1,924,782
リース債務	296,537	275,874
役員退職慰労引当金	50,309	51,257
退職給付に係る負債	22,495	23,310
その他	132,809	112,426
固定負債合計	2,520,086	3,322,651
負債合計	6,503,230	7,676,059
純資産の部		
株主資本		
資本金	405,900	405,900
資本剰余金	604,430	604,430
利益剰余金	6,257,611	6,523,501
自己株式	△133,298	△133,461
株主資本合計	7,134,643	7,400,370
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	38,962	12,054
為替換算調整勘定	518,008	327,366
その他の包括利益累計額合計	556,970	339,421
純資産合計	7,691,614	7,739,791
負債純資産合計	14,194,845	15,415,851

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成27年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成28年3月31日)
売上高	10,344,114	10,256,171
売上原価	8,344,954	8,294,893
売上総利益	1,999,159	1,961,277
販売費及び一般管理費	1,348,578	1,381,505
営業利益	650,581	579,771
営業外収益		
受取利息	2,278	4,892
受取配当金	1,516	1,870
為替差益	42,446	—
固定資産売却益	17,616	46,603
その他	78,762	71,440
営業外収益合計	142,620	124,807
営業外費用		
支払利息	49,374	42,291
為替差損	—	25,314
その他	7,358	31,819
営業外費用合計	56,732	99,426
経常利益	736,468	605,152
特別利益		
投資有価証券売却益	—	13
保険解約返戻金	53,248	—
会員権売却益	0	—
特別利益合計	53,249	13
特別損失		
投資有価証券売却損	11,280	—
会員権売却損	900	—
役員退職慰労金	222,528	—
特別損失合計	234,708	—
税金等調整前四半期純利益	555,010	605,165
法人税、住民税及び事業税	130,250	190,952
法人税等調整額	△11,161	△41,564
法人税等合計	119,088	149,387
四半期純利益	435,921	455,778
親会社株主に帰属する四半期純利益	435,921	455,778

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成27年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成28年3月31日)
四半期純利益	435,921	455,778
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	24,976	△26,907
為替換算調整勘定	397,260	△190,641
その他の包括利益合計	422,237	△217,549
四半期包括利益	858,158	238,229
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	858,158	238,229
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成27年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成28年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	555,010	605,165
減価償却費	367,633	326,518
のれん償却額	65,368	65,368
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△597	△328
賞与引当金の増減額(△は減少)	76,248	77,047
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△6,851	△2,881
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	2,715	2,037
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△67,337	948
固定資産売却損益(△は益)	△16,972	△40,376
投資有価証券売却損益(△は益)	11,280	△13
受取利息及び受取配当金	△3,795	△6,762
保険解約損益(△は益)	△53,248	△2,608
支払利息	49,374	42,291
役員退職慰労金	222,528	—
売上債権の増減額(△は増加)	143,746	107,025
たな卸資産の増減額(△は増加)	△55,843	256,807
未収入金の増減額(△は増加)	28,303	40,531
仕入債務の増減額(△は減少)	△210,498	△294,728
未払金の増減額(△は減少)	△94,186	△76,160
未払費用の増減額(△は減少)	△26,491	△14,769
その他	△50,647	△2,422
小計	935,738	1,082,691
利息及び配当金の受取額	3,794	6,780
利息の支払額	△49,549	△41,940
役員退職慰労金の支払額	△222,528	—
法人税等の支払額	△164,788	△113,219
法人税等の還付額	127	28,937
営業活動によるキャッシュ・フロー	502,794	963,249

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成27年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成28年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△105,990	△54,000
定期預金の払戻による収入	48,000	134,580
有形固定資産の取得による支出	△321,101	△743,950
有形固定資産の売却による収入	26,146	57,342
投資有価証券の取得による支出	△4,193	△4,168
投資有価証券の売却による収入	11,111	48
保険積立金の払戻による収入	236,985	6,273
その他	△46,753	△33,751
投資活動によるキャッシュ・フロー	△155,795	△637,625
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	△149,000	286,444
長期借入れによる収入	900,000	719,380
長期借入金の返済による支出	△858,856	△562,007
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△82,235	△85,729
社債の発行による収入	—	981,420
社債の償還による支出	△142,000	△77,000
自己株式の取得による支出	—	△163
配当金の支払額	△113,214	△189,177
財務活動によるキャッシュ・フロー	△445,307	1,073,166
現金及び現金同等物に係る換算差額	122,276	△94,430
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	23,968	1,304,359
現金及び現金同等物の期首残高	3,082,818	2,942,421
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,106,786	4,246,781

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年7月1日至平成27年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	米国	タイ	中国	合計
売上高					
外部顧客への売上高	7,729,561	688,946	1,664,768	260,837	10,344,114
セグメント間の内部売上高 又は振替高	748,987	—	108,423	10,316	867,728
計	8,478,549	688,946	1,773,192	271,153	11,211,842
セグメント利益	329,616	53,319	155,593	9,096	547,626

2 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	547,626
セグメント間取引消去	102,954
四半期連結損益計算書の営業利益	650,581

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年7月1日至平成28年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	米国	タイ	中国	合計
売上高					
外部顧客への売上高	7,332,339	895,134	1,606,380	422,316	10,256,171
セグメント間の内部売上高 又は振替高	754,889	12,417	111,194	1,933	880,434
計	8,087,228	907,552	1,717,574	424,249	11,136,605
セグメント利益	211,544	58,995	160,487	32,893	463,921

2 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	463,921
セグメント間取引消去	115,850
四半期連結損益計算書の営業利益	579,771

3 報告セグメントの変更等に関する事項

(有形固定資産の償却方法の変更)

(会計方針の変更)に記載のとおり、日本セグメントであります当社及び国内連結子会社の有形固定資産の減価償却方法につきましては、主として定率法を採用していましたが、第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

この変更に伴い、従来の方法に比べ、日本セグメントにおける当第3四半期連結累計期間のセグメント利益は70,135千円増加しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 販売実績の状況

当第3四半期連結累計期間における販売実績を用途品目別に示すと、次のとおりであります。

用途品目		前第3四半期 連結累計期間 (千円)	当第3四半期 連結累計期間 (千円)	前年同期比 (%)	前連結会計年度 (千円)
自動車用部品	シート用部品	4,094,365	4,297,063	5.0	5,492,822
	ウインドウレギュレーター用部品	1,036,168	964,919	△6.9	1,368,770
	ロック用部品	557,288	521,375	△6.4	727,297
	エンジン用部品	1,596,943	1,456,083	△8.8	2,084,982
	足回り用部品	1,488,421	1,164,259	△21.8	1,945,608
	その他	905,410	1,019,209	12.6	1,216,346
	小計	9,678,597	9,422,911	△2.6	12,835,828
その他		665,517	833,259	25.2	867,756
合計		10,344,114	10,256,171	△0.9	13,703,584

(注) 1 上記の金額には、消費税は含まれておりません。

2 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は、次のとおりであります。

相手先	前第3四半期 連結累計期間		当第3四半期 連結累計期間		(参考) 前連結会計年度	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
シロキ工業株式会社	2,164,060	20.9	2,001,133	19.5	2,835,897	20.7